

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
1	提案者A	ごみ捨て禁止法案があったほうがいいんじゃないかなって思います。	1	58 ページ	ごみの投棄に対応した例規があったほうがよい。	本市には、久喜市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例がございます。	原案どおり	環境課
		ごみのないまちにしてください。きれいなまちにしてください。いいまちづくりをしてください。	2	58 ページ	ごみのないまちづくりを推進して欲しい。	本市では、まちをきれいにするために、以下のことを実施しております。 ①市民との協働により、ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動を実施しています。 ②環境美化活動を支援するため、環境保全団体に対し補助金を交付しています。 ③市職員及び環境保全巡視員による「ポイ捨て及び犬のふんの放置の防止重点区域」のパトロールを実施しています。 ④市職員による「環境保全パトロール」を実施し、過去に不法投棄された場所等を巡回監視しています。	原案どおり	環境課
2	提案者B	今回の計画は大変良い計画だと思います。圏央道の全面開通により企業誘致にはもっとも好時期であります。 産業系ゾーンとして、製造、建設、運輸、通信、商業などの誘致が必要と考えます。 それに加え、人口増加策として、住居系ゾーンも除堀、原、樋ノ口周辺に設定すべきだと考えます。そうすれば、土地利用構想図からもバランスのとれた計画となります。 以上、よろしく申し上げます。	3	24 ページ	土地利用構想図において、除堀、原、樋ノ口周辺を住居系ゾーンとして位置づけたほうがよい。	総合振興計画の土地利用構想図は、市域の土地の合理的かつ適切な保全、活用の方向を明らかにするとともに、安全で快適な住民生活と機能的な社会経済活動が営める場を確保するための方法を示すものです。 住居系ゾーンにつきましては、既成の市街地とその周辺を位置づけており、ご指摘いただいた地域は、これに含まれないと考えます。 なお、産業系ゾーンとして位置づけた場所に優良企業を誘致することで、雇用創出や人口増を期待できると考えます。	原案どおり	企画政策課

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
3	提案者C	<p>今般、市民へ公開された「久喜市総合振興計画・後期基本計画（案）」（以下「素案」と略記します。）に関し、パブリック・コメントを提出致します。</p> <p>この「素案」は多くの課題を抱える今後の久喜市の行財政計画を総合的に各部門が連携し効率的、着実、スピーディに実施するための基幹となる「素案」として理解しております。</p> <p>一市三町の合併により新生久喜市が誕生し、早くも8年を経過しようとしています。既存の「総合振興計画－基本構想（10年）・前期基本計画（5年）」は新生久喜市が誕生してから3年かけて真剣に検討審議し、平成25年3月に策定されました。この前期基本計画は今年平成29年度で終了することになります。</p> <p>そこで、前期基本計画の成果、進捗状況、評価を踏まえて、当初の基本構想を主軸とし、その後新たにに取り組むべき課題を織りこみ、先ず、当初の「基本構想」をより現実的実践的な「素案」に見直すことが必要です。</p> <p>さらに今回新たに策定する「後期基本計画」は来年、平成30年より34年度までの5年間にわたる中期計画であり、新生久喜市の基盤を確立し定着させるための基幹計画になるものと理解しております。</p> <p>すなわち、4年前の「基本構想」で目指す『豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市 ～人と水と緑 市民主役のまち～』への「まちづくり」の基軸となる極めて重要な「素案」になるものと期待しております。</p> <p>そこで、この「素案」は市民や行政関係者が久喜市行政の実態を理解し、今後どのように取り組むのかが具体的で分かり易い計画書でなければなりません。そのためには、次の項目は欠かせない事項であると考えます。</p> <p>「素案」に欠かせない記載項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前期基本計画の成果と評価を具体的に明示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価の結果（H28/12）・行革大綱評価（H29/3）の要点を明示する。</li> </ul> </li> <li>後期基本計画の主要な課題を具体的に明示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>現在取り組んでいる大規模事業計画等を明示する。</li> </ul> </li> <li>財政状況を時系列にて実績と今後の見通しを明示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民や行政関係者に本市の厳しい財政状況を理解してもらうため。</li> <li>新生久喜市発足後の実績と計画期間H34年までの見通しをビジュアルに棒グラフなどで明示する。</li> <li>明示項目：経常的収支の項目別内訳・主要財政指標・市債残高・財政調整基金残高</li> </ul> </li> <li>7つの大綱と4つのリーディングプロジェクトなどを体系図で明らかにする。</li> <li>主要な施策内容（現状・課題・目的・内容・主な取り組み・成果指標）は具体的、明確に分かり易く記述されたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>特に <ul style="list-style-type: none"> <li>（ア）「主な取り組み」の施策名は実施計画（予算書）記載の「事業名」とし、各種の行政書類の間で一貫性をもたせるよう努められたい。</li> <li>（イ）「成果目標」については「数値」「件数」「%」「期日」など明確で厳格に設定されたい。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>	-	-	-	-	-	-

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>6 「素案」の実現に向け意欲的に取り組む体制を分かり易く記述されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P・D・C・Aサイクル体制の確立し着実に実行する。</li> <li>・ 行政評価・行政改革の成果は厳格評価とし、評価結果は実施計画に即反映させる。</li> <li>・ 市民参加・市民との共同の仕掛け人、裏方役は行政当局であることを自覚されたい。</li> </ul> <p>前述した事項を念頭に「素案」に眼を通しましたところ、追加・修正して戴きたい事項が数多くありますので以下にメモ致します。ご検討の上、趣旨ご理解いただき「素案」に追加、修正されたくお願い致します。</p>						
		<p>[I]「序論」に加筆、修正されたい事項</p> <p>第2章総合振興計画の前提 7 本市の特徴と主要課題 P17(7)行財政分野</p> <p>特性の次に下記の項目を明記されたい。 財政状況の実績と今後の厳しい見通しについて具体的に記述されたい。 本市のこれからの財政は益々厳しくなることを市民や行政関係者に理解し納得してもらうよう努められたい。 (ア) 厳しくなる要因を具体的に記述する。 ・ 歳入面…人口の漸減、超高齢化の急進、農工商、中・小零細企業の衰退・県、国の交付金等の漸減 ・ 歳出面…医療・介護保険負担の増加、生活保護支援費の増加、育児支援費の増加、社会インフラ（道路・上下水道・公共教育施設など）の老朽化補修整備費の増加 ・ 重要大規模新設整備工事の計画的実施 (イ) 現況と今後の見通しについて具体的にビジュアルなトレンド図表・グラフなどを作成明示されたい。 次の図表を「中期財政計画」に準じて作成し開示されたい。 ・ 経常的一般財源のトレンド棒グラフ ・ 経常的経費(所要一般財源)のトレンド棒グラフ ・ トレンド期間はH18以降の決算額とH34年度までの見込額 ・ 主要財政指標のトレンド図表 経常収支比率、実質公債比率、市債残高（市民1人当たり）、財政調整基金残高（市民1人当たり） （目標値・県内40市の平均値と久喜市の順位を併記する。）</p>	4	18 ページ	<p>「本市の特徴と主要課題（7）行財政分野」において、本市の財政状況の実績と、今後の見通しについて、具体的に記述するとともに、中期財政計画に準じた図表やグラフなどを用いて明示して欲しい。</p>	<p>序論第2章中「社会経済環境の変化」において、国、地方を通じた歳入面・歳出面の見通しについて説明しているほか、第2部大綱7「健全な財政運営の確立」において、本市の財政状況について記載しています。 また、経常的一般財源、経常的経費（所要一般財源）、経常収支比率、実質公債比率、市債残高、財政調整基金残高については、中期財政計画に記載しています。 なお、総合振興計画は市の最上位計画としてまちづくりの指針として策定するものであり、具体的な内容については、各個別計画においてより詳述することとしています。 以上により、ご指摘いただいた事項に関する説明は不要と考えます。</p>	原案どおり	企画政策課

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>P26 第2章総合振興計画の実現に向けて 「1 施策の体系」の前に次の事項を記載されたい。</p> <p>1 前期基本計画の成果と今後の主要課題 (1) 前期基本計画の成果 7大綱44施策、リーディングプロジェクト4テーマ17施策の中で ①成果目標を十分に達成できた施策(事業・工事計画) …主な施策を5項目 ②成果目標の達成がまだ不十分な施策(事業・工事計画) …主な施策を5項目を明示する。 (2) 「行政評価に関する提言書(H28/12)」の要点を明示する。 ・委員会の意見の要点 ・行政評価全般に関する意見の要点 (3) 前期行政改革大綱成果(H29/3)の要点を明示する。 (4) 今後の主要な課題・施策を具体的に事業・工事名等で明示する。 次の計画が挙げられると思われます。 ①ごみ処理施設の統合新設計画 ②(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園新設整備計画 ③理科大跡地生涯学習・子育て支援事業等の活用事業及び 周辺道路等生活環境整備事業 ④給食センター統合新設・既設給食施設の廃止事業 ⑤小・中学校の学校区調整・統廃合計画 ⑥幹線道路網の新設・伸延整備事業 東停車場線・佐間、八甫線・平沼和戸線など ⑦社会インフラ諸施設老朽化対策…補修整備事業 上下水道・道路・橋りょう・庁舎、公民館、集会所等・ 保育所、幼稚園、小中学校、図書館など ⑧地域医療・救急医療体制の整備・済生会栗橋病院への資金援助</p>	5	3 27 ページ	<p>「第2章総合振興計画の実現に向けて」の冒頭に、前期基本計画の成果、行政評価に関する提言書の要点、前期行政改革大綱成果の要点、主要な課題・施策にかかる事業・工事名を記載して欲しい。</p>	<p>本市では、行政評価システムを推進しており、施策評価に基づいて、総合振興計画の進行管理をしています。序論第1章に総合振興計画の進行管理についての説明を追加し、その中で前期基本計画期間中の施策評価の結果を記載します。 また、後期基本計画においては、各施策の成果指標に、平成28年度実績を記載することによって、前期基本計画期間中の成果を示すこととしています。 なお、基本計画は基本構想に定めた将来像を実現するために、分野ごとに取り組むべき施策体系と方針を明らかにしたものです。 したがって、基本構想において、個々の委員会の評価や計画、事業等については、具体的な内容を記載するものではないと考えます。</p>	<p>序論第1章に「3 総合振興計画の進行管理」を追加し、平成28年度施策評価の結果を記載します。</p>	企画政策課
		<p>P26(2) 施策の体系 7つの大綱・44施策の体系図と「リーディングプロジェクト」4つのテーマ・17施策との関連体系図を作成し、当面の最重点施策事業計画の位置づけを体系化し明確に示されたい。 さらにこの体系図に関連する「個別計画」を記載し、「素案」のHP掲載に当たっては「個別計画」名をクリックすることによって、該当する「個別計画」にアクセスできるよう工夫されたい。</p>	6	27 ページ	<p>施策の体系図とリーディングプロジェクトの関連体系図を作成して欲しい。 また、体系図に個別計画を記載し、ホームページ掲載においては後期基本計画からアクセスできるようにして欲しい。</p>	<p>4つのリーディングプロジェクトは、7つの大綱にわたって設定しているものであり、それぞれが特定の大綱に限定されているものではないため、体系図に表すことができません。 個別計画につきましては、前期基本計画と同様、一覧にしたものを資料編に掲載することを予定しており、また、市ホームページにおいても、計画の一覧が表示された画面から、これらの個別計画へアクセスできるよう掲載されています。</p>	原案どおり	企画政策課

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>P35(7)行財政を見直し、改革を進めるまちの次に(8)として次の施策を加える。</p> <p>(8)計画の効率的実践的推進体制の確立</p> <p>①P⇒D⇒C⇒Aサイクル体制を徹底し確立する。</p> <p>②行政評価、行革評価はより厳正に実施する。</p> <p>③評価結果をスピーディに計画(実施計画⇒予算編成)に反映させる。</p> <p>④実施計画は中期財政計画と密接なる連携の上策定する。策定期間は予算編成着手前(9月以前)に繰上げて策定する。</p> <p>⑤中期財政計画は永続的に安定した財政運営・財政基盤確立を必達する目的で実施計画と密接に連携して策定する。策定期間は予算編成着手前(9月以前)に繰上げて策定する。</p> <p>⑥予算編成に当たっては「集中と選択」「スクラップアンドビルド」を掛け声だけでなく強い決意と決断により実行する。</p> <p>⑦個別計画は縦割り意識を排除し、企画・財政など関係部門と密接な連携のもとで中期収支計画も含めて策定する。</p> <p>⑧庁内の行財政運営会議体制を実効ある組織体制に改編する。</p> <p>⑨市民参加の積極推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例の運用・活用の徹底</li> <li>・審議会等の運営改革により市民意見の積極採用</li> <li>・市民懇談会、パブリック・コメントなどによる市民の声を重視する。</li> </ul> <p>⑩県庁や他の市町村との連携を深め積極的に情報入手し、利用・活用する。</p>	7	3 36 ページ	<p>大綱8として、「計画の効率的実践的推進体制の確立」という大綱を追加し、総合振興計画の進行管理や事務事業の実施方法等について施策として定めて欲しい。</p>	<p>今回策定している後期基本計画は、久喜市総合振興計画基本構想の計画期間(平成25年度～平成34年度)のうち、後期5年(平成30年度～平成34年度)に関する計画です。基本構想は現在も計画期間中であり、この中で定めた7つの大綱については見直しを行わず、各種施策の必要な見直しを行い、後期基本計画を策定しています。</p> <p>本市では、行政評価システムを推進しており、施策評価に基づいて、総合振興計画の進行管理をしています。序論第1章に総合振興計画の進行管理についての説明を追加し、その中でPDCAサイクルを確立に関する説明を記載します。</p> <p>なお、総合振興計画は個々の事務事業については、その具体的内容や実施方法等まで規定するものではないと考えます。</p>	<p>序論第1章に「3 総合振興計画の進行管理」を追加し、本市における行政評価システムの概要を記載します。</p>	企画政策課
		<p>[II]「後期基本計画」の各大綱の施策事項に加筆・修正されたい事項</p> <p>それぞれの施策内容は市民が一見して理解し、納得できるよう策定されたい。</p> <p>特に記載する「施策」の名称は関連する「実施計画」や「予算書」と同一名称とし一貫性をもたせるよう努められたい。</p> <p>さらに「成果目標」は具体的に数値や期日などを厳正に設定されたい。</p> <p>以下、主な施策について加筆・修正が望ましい事項を列挙すると次の通り。</p> <p>この事例にならって他の主要な施策についても加筆・修正を望む。</p>	8	64 97 119 122 ページ	<p>施策名称は、実施計画や予算書と同一名称として欲しい。</p> <p>成果指標には具体的な数値や期日などを設定して欲しい。</p>	<p>総合振興計画における各施策については、本市のまちづくりを推進する方針を定めたものであり、「実施計画」や「予算書」における事務事業とは異なるものであることから、名称を統一するものではありません。</p> <p>また、基本計画は基本構想に定めた将来像を実現するために、分野ごとに取り組むべき施策体系と方針を明らかにしたものです。</p> <p>施設や道路等の整備につきましては、個別に計画を策定して取り組むものであり、後期基本計画において、事業の終了時期などを成果指標として設定するものではないと考えます。</p>	原案どおり	企画政策課

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>P 6 3  (3) ごみ・し尿処理体制の充実  主な取り組み  ○ごみ処理施設の統合：ごみ処理施設整備推進事業←実施計画・予算書の事を記載する  成果指標に次の項目を追加する。  成果指標の名称 ごみ処理施設整備推進事業  平成28年度 整備計画策定審議  平成34 整備工事（H35／4使用開始）</p> <p>P 9 6  (12) 学校給食の充実  主な取り組み  ○新たな学校給食センターの整備：学校給食センター整備事業整備工事←実施計画・予算書の事業名を記載  成果指標に次の項目を追加する。  成果指標の名称 学校給食センター整備事業整備工事  平成28年度 整備計画策定審議  平成34 (H32／4使用開始)</p> <p>P 1 1 8  (2) 市内幹線道路・生活道路の整備  主な取り組み  ○市道の整備改良：・幹線道路網の新設・伸延整備事業：*東停車場線整備事業*佐間、八甫線整備事業*平沼和戸線整備事業  成果指標に次の項目を追加する。  ○成果指標の名称 東停車場線整備事業  平成28年度 用地買収  平成34 使用開始時期を記入  ○成果指標の名称 佐間、八甫線整備事業業  平成28年度 実施事項記入  平成34 使用開始時期を記入  ○成果指標の名称 平沼和戸線整備事  平成28年度 実施事項記入  平成34 使用開始時期を記入</p> <p>P 1 2 1  (3) 公園の整備  主な取り組み  ○近隣公園及び街区公園の整備：(仮称)本多静六記念・市民の森・緑の公園整備事業  成果指標の名称 (仮称)本多静六記念・市民の森・緑の公園整備事業業  平成28年度  平成34 整備工事（H35／4使用開始）</p>						

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>[Ⅲ] 特に「健全財政運営の確立」についての要望事項 P152</p> <p>2 健全財政運営の確立 施策の課題 次の文言を削除し、加筆修正されたい。</p> <p>①削除箇所 →財政調整基金の確保や、経常収支比率及び実質公債費比率の改善など一定の効果が出ています。 加筆修正箇所→財政調整基金は今後の大規模工事に備えて積み増したことにより目標額を上回っております。なお、特記すべきは財政構造の弾力性を判断する「経常収支比率」や市債依存度を示す実質公債費比率は当初の目標値を大幅に下回り、県内40市の中では常に低位置で低迷しております。</p> <p>②削除箇所 →これらに適切に対応し、財政の柔軟性を確保していくことが必要です。 加筆修正箇所→今後は将来を見据え安定した財政運営・基盤確立のため総力を挙げて果敢に取り組んでいきます。</p>	9	153 ページ	大綱7「健全財政運営の確立」の施策の課題に関して、文言の修正をして欲しい。	<p>1点目については、前期計画期間において、財政調整基金の残高が確保されたことや財政指標が改善されていることから、一定の効果があつたことは事実であり、後段において、現状を受けた課題を記述する構成となっているため、記載内容は妥当であると考えております。</p> <p>2点目については、ご指摘の部分は「課題」についての記述をするところであることから、取り組み内容についての記述は必要ないと考えます。</p>	原案どおり	財政課
		<p>P153 (2) 効率的・効果的な財政運営の推進 主な取り組み ○行政評価と予算編成との連携強化：P→D→C→Aサイクルの徹底 ○予算編成手法の改革（ゼロベース・事業部制の徹底） ○公民連携の徹底 ○地方公会計制度の活用 ○健全財政条例の制定検討→施行</p> <p>成果指標 経常収支比率の平成34年度（目標値）を次のように改める。 89.0% 素案は成果指標として不適切。 「指標」明確に年々0.1%引き下げる</p> <p>実質公債費率も同様に8.0%とする。年々0.05%引き下げる。</p>	10	154 ページ	大綱7「健全財政運営の確立（2）効果的・効率的な財政運営の推進」について、主な取り組みと成果指標を改めて欲しい。	<p>ご提案の主な取り組みのうち、「PDCAサイクルの徹底について」は、行政評価システムにおいて事業の実施方法等を常に見直すPDCAサイクルの確立を目的の1つとしていることから、「行政評価と予算編成との連携強化」に包含されているものと考えます。</p> <p>本文中に記載されている「予算編成方法の改善」に、「予算編成手法の改革」や「地方公会計制度の活用」が包含されていると考えます。このことから、主な取り組みに「予算編成方法の改善」を追加するものとします。</p> <p>条例については、行政改革大綱において各種財政運営について目標を掲げて取り組んでいることから、条例化の必要はないと考えます。</p> <p>また、成果指標のうち経常収支比率については、前期計画中で本市の指標の中で最良値又は県市平均のいずれか低い方を指標として設定しており、比率を改善することを目標値としていることから妥当であると考えております。</p> <p>実質公債費比率については、行政改革大綱の目標値と同様とし、平成34年度は、具体的な数値も設定します。</p>	<p>主な取り組みに「予算編成方法の改善」を追加します。 実質公債費比率の平成34年度目標値を「前年度数値と4.7%を比較して低い方の比率」とします。</p>	企画政策課 財政課

NO	提案者	意見書の意見全文	意見NO	資料3 該当箇所	意見の概要	市の考え方	計画案への反映	担当課
		<p>～おわりに～ 冒頭に述べましたように今回の「総合振興計画・後期基本計画」は久喜市の将来の基盤となる極めて重要な「計画」であると思います。</p> <p>今後の久喜市がより住みよいまちにと願って思いつくまま要望事項をメモ致しました。</p> <p>要望事項のまとめ方が整理不十分で重複項目もあり、また耳障りな記述も見られるかと思いますが一市民としてより良いまちにと願っての思いですのでご理解いただきたく存じます。</p> <p>以上</p>	-	-	-	-	-	-